



2019年 No.10

編集  
発行

木次乳業有限公司

〒699-1323 島根県雲南市木次町東日登228-2  
TEL (0854) 42-0445 FAX (0854) 42-0400  
<http://www.kisuki-milk.co.jp>



# いま日本のチーズが熱い!

## HIROSHIMAチーズフェス2019

9月7日(土)、チーズプロフェッショナル協会主催のイベント、『Hiroshima チーズフェス 2019』が、広島市にある『広島県JAビル』にて開催され、約200人のチーズ愛好家が参加しました。

島根・広島・岡山・山口でチーズを生産する11工房が参加し、チーズの試食会、モzzarellaチーズ作り体験、チーズプラトー盛り付け体験、トークショーがおこなわれました。

弊社からはチーズ職人の川本、黒川が参加し、弊社の考え方や弊社チーズのおいしさのポイントなどを対面でPRしました。

### 出展チーズ工房

- <島根>木次乳業、しまねおおなんチーズ工房
- <広島>上ノ原牧場 フェルミエカドーレ、チーズ工房 乳い〜ずの物語、三良坂フロマージュ、やぎ丸農場、ふくふく牧場
- <岡山>IL RICOTTARO、蒜山酪農協同組合、ルールルカプリ農場
- <山口>みるくたうん



チーズを美しく盛り付ける  
チーズプラトー盛り付け体験



『乳い〜ずの物語。』による  
モzzarellaチーズ作り体験



チーズプロフェッショナル協会  
本間るみ子会長と『三良坂  
フロマージュ』のトークショー。  
日本のナチュラルチーズのいろ  
いろな話が勉強になりました



木次乳業の試食の目玉は5年  
熟成のオールドゴーダ!!  
5年ものは製品化していないの  
で、めったに食べられません。



イベントの最後は弊社・川本のライブ!!  
「打ち合わせの時に『盛り上げてくださ  
い』と言われましたか? それおニッターボッ  
クスに立っているノビッターに監督がホームラ  
ンを打つと言っているのと同じで...こんな  
格好をしてみました。」と川本。『今日の日  
はさようなら』など、2曲を熱唱しました。

## スタッフ紹介

それぞれの現場で活躍している木次乳業のスタッフを、シリーズでご紹介しています。

### 木次乳業チーズのファンからチーズ職人に 製造課 チーズ室 黒川 くろかわ 砂代子 さよこ (36歳)

#### 英語が大好きだったけど…

「私は埼玉県久喜市で育ちました。子供の頃から英語のテレビドラマを見るのが好きで、当時放送していた『素晴らしき日々』『天才少年ドギー・ハウザー』などを学校から帰るとずっと観ており、そこから外国がふれがはまりました(笑)。英語に憧れ話したいと思っていたので、高校は英語の専攻がある高校に進学し、卒業後も英語の専門学校で2年間学びました。しかし、卒業後、英語を使ってどんな仕事がしたいのかがわからず悩み、カフェでアルバイトをしたり、就職してもなかなか定着せず、1年で辞めたりしていました。

そんな時、せっかく英語を勉強してきたのだから短期でも外国に滞在してみたいと思い、昔から写真を見て憧れていたデンマークの“フォルケホイスコーレ(国民学校)”に3カ月の短期留学をすることにしました。そこで出会った日本人大学生は英語を専門的に学んではいないけれど、自分がしたいこと、関心があることが明確で伝えたいことがはっきりしており、そのことを伝えたい!!との思いで英語を話すので、文法が正しくなくても伝わっていました。一方、私は、正しい文法で話しているけれど、伝えたいことが少なく話が薄っぺらだと感じました。そして、英語はコミュニケーションのツールにすぎず、大事なのは伝えたい内容であることに気づきました。

帰国後、外資系のメーカーの東京支社で働き始めました。小さな会社だったので、すぐに私を戦力として認めてくれて、英語での会議にも出るようになりました。任せられることがうれしくてやり甲斐も感じていました。しかし、会社が成長していくと残業も多くなり、終電で帰る日が続きました。そんな日々を過ごしていたところ、ある時突然、体が動かなくなってしまう、普段は1時間半ほどしかかからない通勤にひどいときは3、4時間もかかるようになってしまいました。それから1年、体を騙し騙し働いたのですが体調はあまり良くなり、満員電車で揺られることも苦痛に感じ、9年間働いた会社を辞めることにしました」

#### 五感を使ったモノ作りに憧れて

「体調を崩した頃、兄夫婦が私の体を心配し、家での食事に誘ってくれるようになりました。兄夫婦は健康を考えた食べ物にこだわっており、何度もお邪魔してご飯をいただいたら、徐々にスローフードに目覚めていきました。味噌作り体験に行っていて生きている麹が温かいことに感動したりするうち、『こういう、五感を使ってモノを作ることが身近

にある暮らしをしたい!』と思うようになりました。

木次乳業のチーズに出会ったのも兄夫婦の家で、初めてイズモ・ラ・ルージュを食べた時に、『何ておいしいチーズなのだろう!』と感動しました。それからすっかりファンになり、木次乳業チーズを全種類売っているお店を見つけ、そこで頻繁に購入するようになりました。

そんなある日、ネットで木次乳業を検索していたら製造の社員を募集しており、迷うことなく応募しました。大好きなチーズを自分で造ることができたら素敵だなと思ったのです」

#### チーズ室で働き始めて

「木次乳業で働き始めると、すぐに体調が良くなり、健康面の不安が消えました。木次のきれいな空気と食べ物のおかげだと思います。健康で仕事ができることはとても大切だと実感しています。

現在入社4年目で、カマンベールチーズの製造を担当しています。チーズは生乳に乳酸菌や酵素を加え固めることにより造るのですが、生乳は同じようでも毎日わずかに成分に違いがあり、気温や湿度も毎日変わり、それにより菌の発酵状況も変わってきます。チーズ職人はどんな状況でも品質が一定のチーズを造ることができるよう技術や感覚をつきつめていくのですが、私は器用ではないので、見たこと言われたことを習得するまでに時間がかかります。そこで、教えてもらったことを細かくメモにとり、それを暗記して現場に入っています。最近になって、やっと発酵が感覚でわかるようになり、少しずつですが技術が向上しているように感じています。

近年は日本人の趣向が多様になり、クセの強いチーズを作る工房も増えてきていますが、弊社は定番のチーズを作り続けています。地味なようですが、小さな子供からお年寄りまで毎日食べたくなるようなシンプルで食べ飽きない、健康に役立つチーズを目指しており、その考え方が私はとても好きです。一人でも多くの方に弊社のチーズを食べていただきファンになってもらいたいと思い、そのためにも、もっともっと勉強し、日々技術を磨いていきたいと思っています。

英語を忘れないよう趣味がてら勉強しており、いつの日かチーズ職人として、チーズのことを英語で伝える機会があればいいなとも思っています」



日登牧場と同じ“山地酪農”の牧場を営む家族の24年間の綴ったドキュメンタリー映画が、「しまね映画祭」で上映されます。

平成30年度（第73回）文化庁芸術祭  
テレビドキュメンタリー部門優秀賞受賞

監督・プロデューサー  
遠藤 隆

ナレーション  
室井 滋

# 山懐に抱かれて



〔テレビ岩手 開局50周年記念作品〕



©テレビ岩手

「みんなが幸せになる、おいしい牛乳をつくりたい」

山の牧場を切り拓く吉塚一家。

雨の日も雪の日も、泣いた日も笑った日も、その歲月はいつも家族とともにありました。美しく厳しい岩手の自然を背景に綴る長編ドキュメンタリー

「岩手県下閉伊郡田野畑村に暮らす、5男2女・9人の酪農大家族。一家が営むのは、一年を通して山に牛を完全放牧し、大地に生えるシバと自前で栽培する牧草だけを餌に牛を育てる“山地酪農”。自然の営みのなかから生み出される、その理想の酪農の実現を胸に、大学卒業後この地に移住した父・公雄は、山を切り開き、シバを植え、牧場を育ててきました。

プレハブの家でのランプ生活が続くなか授かった7人の子どもたちは、父の背中を追うように牧場を元気にかけまわり、手伝いをし、すくすくと育っていきます。夏には冬のための草を刈り、秋にはヤマナシの木に登ってその実をオヤツに、冬にはみんなで薪を拾い、春には仔牛が生まれる…四季の風景に彩られ、休むことのない牧場の暮らし。

一方、自然とともに歩む“山地酪農”ゆえの課題は、次々と一家の暮らしの前に立ちちはだかります。限りある乳量、広さに応じて決まっている牛の頭数、販売価格の調整…ジレンマと闘いながら試行錯誤を繰り返す日々は続きます。みんなで囲む楽しい食卓、周囲の支え、成長した子どもたちと頑なな父との衝突と葛藤、そして仲間とともに踏み出したプライベートブランド《田野畑山地酪農牛乳》設立への挑戦、第二牧場への夢……。

山懐に抱かれて、365日24時間“いのち”と向き合いながら、愛情いっぱい育てられるその営みを大切に綴りました」

第28回 しまね映画祭テーマ映画『山懐に抱かれて』 上映会場

雲南市木次経済文化会館 <b>チェリヴァホール</b> 10/27(日) 10:30 【前売】一般1,000円、シニア(60歳以上)・小中高生・障がい者手帳保持者 500円 【当日券は各200円増】、小学生未満無料	松江テルサ(松江市) 9/28(土) ①10:00 ②14:00 【前売】一般・大学生1,000円 【当日】一般・大学生1,200円 小中高生500円 遠藤隆監督アフタートーク※①の回のみ	メテオプラザ(松江市) 10/26(土) 14:20 【2日間フリーチケット】 1,000円 ※他上映作品との共通入場券	安来市総合文化ホール <b>アルテピア</b> 10/20(日) 13:00 一日券【前売】1,000円 【当日】1,200円 【うし割!?] 800円	斐川文化会館 (出雲市) 11/4(月・振替) 10:00 【前売】800円 【当日】1,000円 遠藤隆監督アフタートーク
---	---	--	---	---

江津市総合市民センター 10/6(日)10:00、大田市民会館 10/12(土)14:00、悠岳ふるさと会館(川本町) 10/13(日)13:00、みさと館(美郷町) 11/3(日)13:30、みどりかいかん(浜田市) 11/9(土)13:30、島根県芸術文化センター「グラントワ」 10/12(土)10:00/14:00/18:30、隠岐島文化会館 11/24(日)13:30

【お問合せ】しまね映画祭実行委員会事務局 TEL0852-22-5502  
 作品HP <http://www.tvj.jp/yamafutokoro/> しまね映画祭HP <https://www.shimane-eigasai.com>

## 畜産ふれあいまつり2019 ～第13回しまね牛乳まつり in いずも～

**開催日時** / 2019年10月6日(日) 10:00～15:00  
**場 所** / 畜産技術センター  
 島根県出雲市古志町3775 TEL(0853)21-2631

- ①展示コーナー  
・試験研究内容、動物画コンクール入選作品
- ②体験コーナー  
・アイスクリームづくり、バターづくり・乗馬など
- ③お楽しみ企画  
・お絵かき広場 ・堆肥無料配布
- ④農畜産物等販売コーナー  
・牛乳料理、牛乳・乳製品、野菜、農産加工品等・手打ちそばなど



**木次乳業も出店します。ぜひお越しください。**

## 日本たまごかけごはんシンポジウム

たまごかけごはん専用醤油発祥の地・雲南市吉田町で毎年開催されている『日本たまごかけごはんシンポジウム』。今年も木次乳業の卵が参加します!!

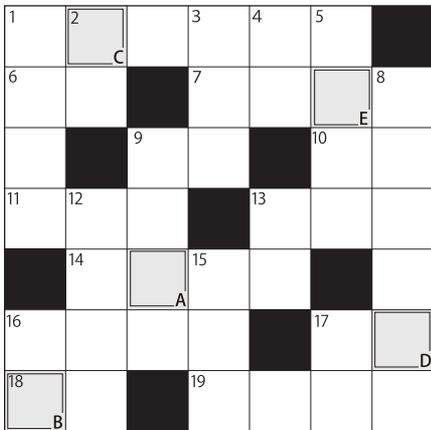
**開催日時** / 2019年10月27日(日)  
 10:00～14:00

**場 所** / 吉田勤労者体育センター  
**入場料** / 大人(中学生以上) 300円、小学生 100円

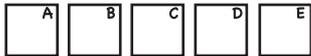
お問合せ  
 日本たまごかけごはんシンポジウム実行委員会  
 TEL(0854)74-0500



## 『カマンベール・イズモ&黒胡椒ゴータ』が当たる クロスワードパズル



**クイズのこたえ**



マスにカタカナを入れて言葉を作ってください。

**【カマンベール・イズモ】**内容量: 120g

↑↑↑白カビタイプのソフトチーズです。

**【黒胡椒ゴータチーズ】**内容量: 180g

↑↑↑ミニゴータに荒挽き黒胡椒を加えました。

**タテのカギ**

- ① “○○○○和”は、晩秋から初冬にかけて現れる穏やかな暖かい晴天。
- ② 生まれた赤ちゃんが初めてつかる、“○○湯”。
- ③ 紀伊半島にある道の世界文化遺産、『○○○古道』。
- ④ 小麦粉をバターで炒め、カレー粉を混ぜ合わせた、“カレー○○”。
- ⑤ 水道、電気、道路、鉄道など、生活や産業の基盤になるもの。
- ⑧ 昭和の自動車の大衆化と共に登場した、広大な駐車場がある飲食店。
- ⑨ ♪京都○○○○三千年 恋に疲れた女がひとり～
- ⑫ DNAは、“○○○○リボ核酸”の略。
- ⑬ パキスタンにあるインダス文明最大級の遺跡、『モヘンジョ＝○○』。
- ⑮ 教会にある、美しい“ステンド○○○”。
- ⑯ 幸せホルモンと呼ばれる脳内物質、『○○トニン』。
- ⑰ 夏は毒性が強くなるため、秋の彼岸から春の彼岸までが時期である魚。



**ヨコのカギ**

- ① エビ、カニ、ミジンコなど、節足動物を大まかに分ける分類。
- ⑥ 沖縄本島に棲息する毒蛇。
- ⑦ 野球でピッチャーが立つ、ダイヤモンド中央の小高くなっているところ。
- ⑨ 新割りに使う刃物といえば？
- ⑩ 腰を振って直径1mほどの輪を回転させる、“○○フープ”。
- ⑪ スポーツ界では、透明性や公平性を高める“○○○判定”の導入が進んでいる。
- ⑬ “○○○-ラマ”は、チベット仏教で最上位クラスに位置する化身ラマの名跡。
- ⑭ 明治初期まで1000年以上も続いた、既婚女性が歯を黒く染める風習。
- ⑯ いつわり飾らないこと。「作者の私生活が○○○○に綴られている」
- ⑰ 思いがけないこと。「○○に現れる」。
- ⑱ 小説『ドン・キホーテ』の、痩せこけた愛馬の名前、『○○ナンテ』。
- ⑲ かつて瀬戸内海で活動した『村上○○○○』。室町幕府などから海上警固を命じられていた。

**正解者の中から抽選で3名様に  
プレゼント!**



ハガキにクイズの答えと、お名前・ご住所・お電話番号を記入し、〒699-1323 島根県雲南市木次町東日登228-2 木次乳業 モーモータイムズ No.10係 宛に送ってください。



※応募のメ切りは2019年11月15日です。(当日消印有効)  
 ※正解者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。  
 ※せっかく当選されても、お電話番号の記入がないと賞品をお送りすることができません。  
**お電話番号のご記入をお忘れないうち、お願いいたします。**  
 ●ご応募いただいた個人情報は、プレゼントの抽選および賞品の配送を目的にのみ使用させていただきます。

**2019-No.8の答えは**

**ヒヤヤツコ**でした。

当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。たくさんのご応募をありがとうございました。

